

# (お 知 ら せ)



2024年4月4日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

### 1. 発電所の状況について（2024年4月4日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・液体毒物注入系解体工事（2023年12月1日～2024年3月22日）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定）

( ) 内は定格電気出力

### <新規規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申請	申請日	補正日	許認可日
2号機	原子炉設置変更許可	2015.11.5	2023.8.31	—
	工事計画認可	—	—	—
	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

### 2. 故障等の状況について（2024年3月1日～4月4日）

#### (1) 法律に基づく報告事象

なし

#### (2) 安全協定に基づく異常時報告事象

##### ①敦賀発電所2号機 運転上の制限の逸脱について

敦賀発電所2号機は第18回定期検査中において、2月26日17時27分頃、原子炉補機冷却海水系<sup>※1</sup>B系のマンホールフランジ部のボルトをゆるめるべきところ、誤ってA系のマンホールフランジ部（以下、「当該フランジ部」という。）のボルトをゆるめたことから、当該フランジ部からの海水の漏れを確認しました。

当該フランジ部を点検する必要があることから、Aディーゼル発電機の冷却水として必要な原子炉補機冷却海水系A系を停止するため、Aディーゼル発電機を待機除外としました。事象発生当時、Bディーゼル発電機は点検中のため待機除外となっていたことから、同日19時11分に保安規定の運転上の制限<sup>※2</sup>を満足していない状態にあると判断しました。

その後、当該フランジ部を点検するとともに、原子炉補機冷却海水系A系の復旧を行い、異常がないことを確認したことから、Aディーゼル発電機を待機状態とし、2月29日11時03分に保安規定の運転上の制限を満足する状態に復帰しました。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

※1：海水によりディーゼル発電機や原子炉補機冷却系熱交換器の冷却水などを冷却するための系統

※2：保安規定第273条では、モード1、2、3及び4以外において、ディーゼル発電機を含め2台の非常用発電設備が動作可能であることを規定しています。

(2月26日、29日お知らせ済み)

原子炉補機冷却海水系B系の点検に係る作業計画等について調査した結果、2日間で4箇所のマンホールの開放を行う計画としていました。また、作業監督は、作業班長等に対して作業初日に開放するマンホール2箇所の場所を指示していました。

作業班長は、作業監督不在時の監督権限を有しており、翌日分の作業を前倒しで実施してよいと認識していたため、作業初日の2箇所の開放後、残りの2箇所を前倒しで開放することを判断しました。しかし、それらのマンホールの場所を把握しておらず、作業箇所近傍にあったA系のマンホールをB系と誤認し、フランジ部のボルトをゆるめたことから海水が漏れ出しました。

対策として、本事象を踏まえて各協力会社に対し、当日予定されていない作業は実施しないこと、および監督権限を有する作業班長は、作業前に点検対象機器を確認することを注意喚起するとともに、これらを社内規程に反映してまいります。

(別紙－1参照)

### (3) 保全品質情報等

なし

### 3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について(2024年4月4日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理、及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

### 4. その他

#### (1) 敦賀総合研修センター2024年度公開研修コースのご案内について

敦賀総合研修センターでは、2024年度の公開研修コースを受講される方を募集しております。

公開研修コースは、国内外の技術者や学生などさまざまな方を対象に、原子力に係る広範囲な知識の習得と技能の向上を図ることを目的として、30項目のコースを開催しています。

詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

([https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/course\\_2024.html](https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/course_2024.html))



◀こちらから敦賀総合研修センター公開研修コースご案内のホームページをご覧ください。

(2) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間：10時～17時】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております>

い か だ ひろし  
①井加田 博 絵画展

当ギャラリーでは7回目の井加田 博 様による絵画作品展です。西洋の古典技法で描かれた人物画を中心に、作品を24点展示中です。

(4月2日～4月7日)

②令和5年度「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」図画・ポスターの部入賞作品展

青少年健全育成敦賀市民会議(会長:原 幸雄 様)主催の図画・ポスターの入賞作品展です。「明るく楽しい家庭や学校生活」「住みよい町づくり」等をテーマに敦賀市の小中学生や、一般の方から募集した中から、入賞作品を46点展示予定です。

(4月16日～4月21日)

ごうせん  
③剛仙展「龍吟」

当ギャラリーでは初となる、剛仙 様による絵画作品展です。「龍神様」「自然」「詩画」をテーマにした作品を100点展示予定です。

(4月30日～5月5日)

以 上

< 問 合 せ 先 >  
日本原子力発電株式会社  
敦賀事業本部 立地・地域共生部  
〔担当：富永、高橋〕  
電話：0770-25-5612

## 敦賀発電所 2 号機 運転上の制限の逸脱について

(原子炉補機冷却海水系 A 系のマンホールフランジ部からの海水漏れに対する原因・対策)

敦賀発電所 2 号機は第 18 回定期検査中において、2 月 26 日 17 時 27 分頃、原子炉補機冷却海水系<sup>※1</sup> B 系のマンホールフランジ部のボルトをゆるめるべきところ、誤って A 系のマンホールフランジ部（以下、「当該フランジ部」という。）のボルトをゆるめたことから、当該フランジ部からの海水の漏れを確認しました。

当該フランジ部を点検する必要があることから、A ディーゼル発電機の冷却水として必要な原子炉補機冷却海水系 A 系を停止するため、A ディーゼル発電機を待機除外としました。事象発生当時、B ディーゼル発電機は点検中のため待機除外となっていたことから、同日 19 時 11 分に保安規定の運転上の制限<sup>※2</sup>を満足していない状態にあると判断しました。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

※1：海水によりディーゼル発電機や原子炉補機冷却系熱交換器の冷却水などを冷却するための系統

※2：保安規定第 273 条では、モード 1、2、3 及び 4 以外において、ディーゼル発電機を含め 2 台の非常用発電設備が動作可能であることを規定しています。

(2024 年 2 月 26 日お知らせ済み)

その後、当該フランジ部を点検するとともに、原子炉補機冷却海水系 A 系の復旧を行い、異常がないことを確認したことから、A ディーゼル発電機を待機状態とし、2 月 29 日 11 時 03 分に保安規定の運転上の制限を満足する状態に復帰しました。

(2024 年 2 月 29 日お知らせ済み)

原子炉補機冷却海水系 B 系の点検に係る作業計画等について調査した結果、2 日間で 4 箇所のマンホールの開放を行う計画としていました。また、作業監督は、作業班長等に対して作業初日に開放するマンホール 2 箇所の場所を指示していました。

作業班長は、作業監督不在時の監督権限を有しており、翌日分の作業を前倒しで実施してよいと認識していたため、作業初日の 2 箇所の開放後、残りの 2 箇所を前倒しで開放することを判断しました。しかし、それらのマンホールの場所を把握しておらず、作業箇所近傍にあった A 系のマンホールを B 系と誤認し、フランジ部のボルトをゆるめたことから海水が漏れ出しました。

対策として、本事象を踏まえて各協力会社に対し、当日予定されていない作業は実施しないこと、および監督権限を有する作業班長は、作業前に点検対象機器を確認することを注意喚起するとともに、これらを社内規程に反映してまいります。

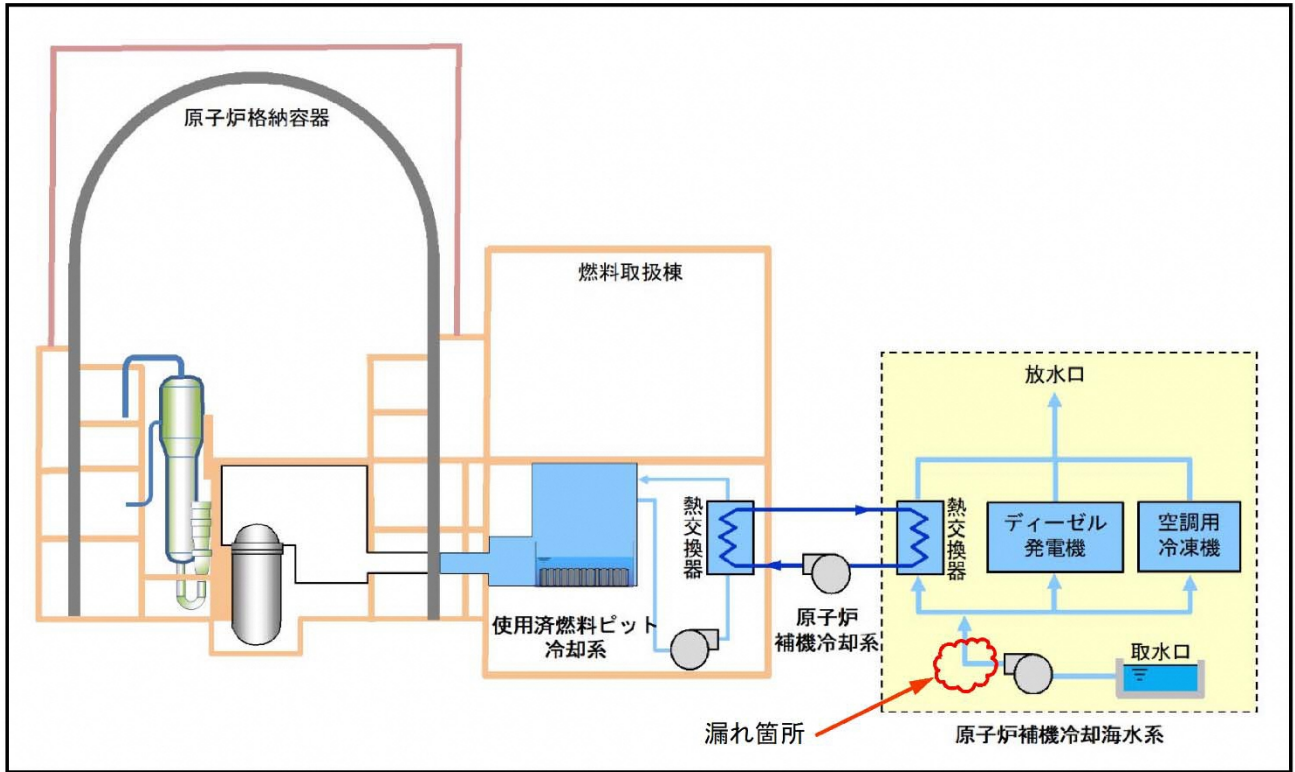
添付資料 1：敦賀発電所 2 号機 原子炉補機冷却海水系 A 系配管マンホールフランジ部からの海水漏れ

以上



敦賀発電所 2号機 原子炉補機冷却海水系 A系配管マンホールフランジ部からの海水漏れ

<全体系統図（事象発生時）>



<現場作業配置図>

